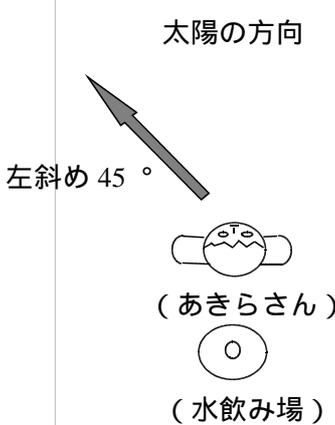
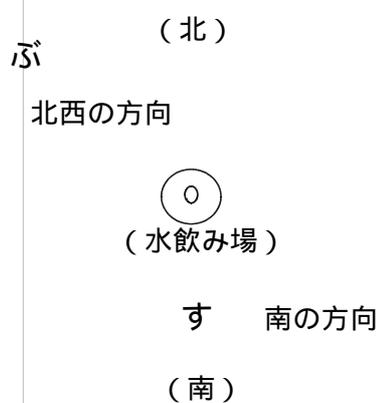
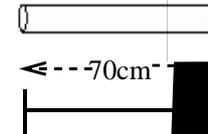
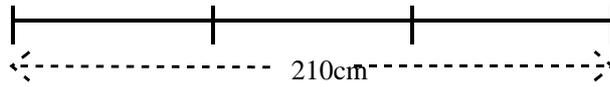


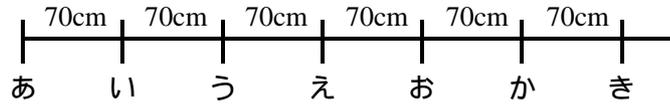
【平成19年度 適性検査 解答例】

研究1	課題1	(例) 帰り道 夕日に染まる いちょうたち
	課題2	(例) 私たちの通学路にいちょう並木があります。夕日に照らされた黄色いいちょうの葉が、何とも言えない美しさで、下校する私たちを見送ってくれます。毎日見守ってくれるいちょうの木々を友達のように感じ、「いちょうたち」と表現しました。
研究2	課題	<p>1とおり目 2回目 3回目 4回目× 5回目 2とおり目 2回目 3回目× 4回目 5回目</p> <p><考え方> (例)</p> <p>1回目もらえるのは $\frac{1}{3}$</p> <p>2回目もらえるのは $\frac{2}{3} \times \frac{1}{4} = \frac{2}{12} = \frac{1}{6}$ 残りは $\frac{1}{2}$</p> <p>3回目もらえるのは $\frac{1}{2} \times \frac{1}{5} = \frac{1}{10}$ 残りは $\frac{2}{5}$</p> <p>4回目もらえるのは $\frac{2}{5} \times \frac{1}{6} = \frac{1}{15}$</p> <p>5回目は残り全部だから、もとの $\frac{1}{3}$ になる。</p> <p>通分すると、もらえるカステラは、2回目 $\frac{5}{30}$</p> <p>3回目 $\frac{3}{30}$ 4回目 $\frac{2}{30}$ 5回目 $\frac{10}{30}$</p> <p>みどりさんがあきらさんより多くもらうには $\frac{15}{30}$ より多くなればよいのだから、みどりさんが(2回目、3回目、5回目)に</p> <p>勝つ場合 $\frac{5}{30} + \frac{3}{30} + \frac{10}{30} = \frac{18}{30}$、(2回目、4回目、5回目)に勝つ場合 $\frac{5}{30} + \frac{2}{30} + \frac{10}{30} = \frac{17}{30}$</p> <p>となり、あきらさんより多くもらえる。</p>
研究3	課題1	(例) ・高速道路が整備されて、遠くの送り先でも比較的短時間で運べるようになったから。

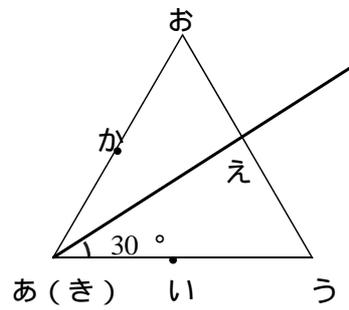
		・時間に関係なく、送り主から送り先まで直接運ぶことができるから。
	課題 2	(例) 鉄道による大量輸送との組み合わせによって、資源の節約につながり、二酸化炭素の量が減って、かん境へのえいきょうが少なくなる。(61字)
研究 4	課題	(例) ろうそくを近づけると、たがいのほのおの熱で上向きの空気の流れが大きくなるため、ほのおが長くなった。
研究 5	課題 1	<p>太陽の方向</p> 
	課題 2	<p>ぶ (北)</p> <p>北西の方向</p>  <p>す 南の方向</p> <p>(南)</p>
研究 6	課題 1	<p>(例) 引いてある直線のはしから、70cm の棒を使って、3 回測ると、 $70 \times 3 = 210$ で 210cm となる。</p>  <p>この 210cm を除くと 1 m</p> 



課題2 (例) 70cm の棒を使ってロープのはしから 70cm ずつ測り、点あ から点き の印をつける。



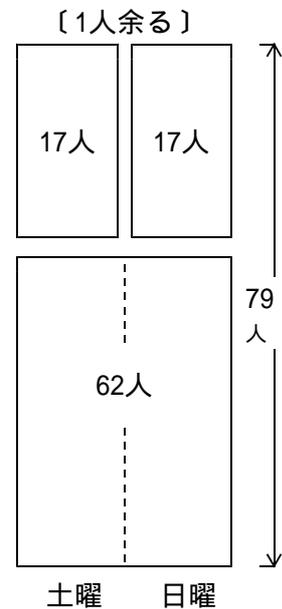
点あ と点き を重ね、あう、うお、おき、が1辺となる正三角形を作る。



点あ と点え を結ぶと 30° の角度ができる。

【平成19年度 適性検査 〔桐蔭中学校〕 解答例】

研究1	課題1	<p>(例)</p> <p>そらのてっぺんなんか冷たくて冷たくてまるでカチカチの灼きをかいた鋼です。</p> <p>真っ暗な夜空が冷気でこおりつき、かたい鉄の感じがする空の様子。</p>
	課題2	<p>(例)</p> <p>女の子はお母さんと別れることを悲しむが、兄に勇気づけられる。元気になった女の子は姉といっしょに飛び立つ。(52字)</p>
研究2	課題1	<p>(例)</p> <p>6年生全員の人数は、 $33 + 34 + 33 = 100$ (人)</p> <p>6年生全員の人数から と の人数を引くと、 $100 - (62 + 3) = 35$ (人)</p> <p>と をあわせた人数は35人になる。</p> <p>$35 \div 2 = 17$ あまり 1</p> <p>だから、 か のどちらかは18人以上ある。</p> <p>$62 + 18 = 80$ (人)</p> <p>100人の8割は、$100 \times 0.8 = 80$ (人)</p> <p>だから、土曜日に参加できる人数と日曜日に参加できる人数のどちらかは、6年生全員の人数の8割以上ある。</p>
	課題2	<p>(例)</p> <p>6年生全員の人数は100人で、その8割は80人である。</p> <p>3台のバスにちょうど同じ人数ずつ乗るのだから、参加者の人数は3の倍数である。</p> <p>また、同じ人数ずつ5つの班に分かれて観察したのだから、参加者の人数は5の倍数である。</p> <p>このことから、参加者の人数は、15の倍数といえる。</p> <p>の人数は3人だから、参加した人数は多くて</p> <p>$100 - 3 = 97$ (人)</p> <p>80以上、97以下の15の倍数は90。</p> <p>だから、6年生全員の参加者は90人になる。</p>



		<p>A組の参加者は $90 \times \frac{1}{3} = 30$ (人)</p> <p>B組の参加者は $30 + 4 = 34$ (人)</p> <p>C組の参加者は $30 - 4 = 26$ (人)</p> <p style="text-align: right;">A組の参加者は <u> 30 </u> 人 B組の参加者は <u> 34 </u> 人 C組の参加者は <u> 26 </u> 人</p>
研究3	課題	<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 農家の人たちが米づくりをやめ、土地を売ったり、マンションを経営したりするようになったから。 ・ 町の中心部には、すでに建物がたくさんあり、そのまわりの水田の多い地域に新しく住宅を建てる人が多くなったから。
研究4	課題1	<p>(例)</p> <p>海辺の生き物がすんでいるかん境に与える影響を少なくするため。また、生き物のふだんの様子を観察できるようにするため。くわしく調べたり、くり返し観察したりするのに役立つようにするため。また、すんでいる場所による生き物の種類やからだの働きのちがいを比べるため。</p>
	課題2	<p>(例)</p> <p>ワカメは海中にあるので、根で水分や養分を吸収する必要がないため。</p>
研究5	課題	<p>(例)</p> <p><かき加えること> 通り(道路)の名前 <理由> 自分のいる位置を確かめやすいから。</p> <p><かき加えること> 駐車場の場所 <理由> 自動車で観光に来た人が、自動車をとめる場所をさがしやすいから。</p> <p><かき加えること> 駅から見どころまでの距離 <理由> 目的地までのおよその距離と移動にかかる時間がわかりやすいから。</p>